



『希望・創造・友情』あふれる学校

すずかぜ

都立花畑学園

第 6 号

R6/9/2 発行

花畑学園の学校だより



学びを生かして充実の秋に

校長 永島 崇子

暦の上では8月初旬には秋を迎えて、酷暑の中にも朝夕の鈴虫の音色に、ささやかながら「秋の気配」を感じておられる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。8月25日には花畑地区第37回作品展で、本学園児童及び地区の小学生の図画工作の作品が会場を彩っていました。

さて、地下鉄大手町駅 C14 出口直結の三井住友銀行アース・ギャラリーで、現在「HERALBONY ART PRIZE(10時～18時)入場無料」が開催されております。“異彩を、放て”をキャッチフレーズに知的障害のある人のアートを作者とライセンス契約を結びながら、多角的に展開されている福祉創造ユニットですが、60点の作品が、鮮やかに会場を彩っています。一番目を引くのはやはりグランプリに輝いた「ヒョウカ」という作品です。実は、30キロの茶色い米袋の裏に私たちがよく知っているポスカで描かれた作品で、サンゴの産卵と「評価されたい思い」等、点描を中心に表現されています。花畑学園の子どもたちの好きなこと、得意なことをたくさん見つけて育てていきたいと改めて思いをはせる展覧会でした。9月22日(日)まで開催とのことです。

台風やゲリラ雷雨など、天気予報が気になる時期にもなりますが、前期授業を再開いたします。引き続き教育活動へのご理解ご協力、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【肢体不自由教育部門より】

主幹教諭 入川 智直

肢体不自由教育部門では、安全にプールの指導を行うため、救急救命講習だけでなく、外部講師による研修会を行い、教職員全員で安全なプール指導を心掛けています。6月からスタートしたプールでは、子どもたち全員水中でリラックスしながら、身体を動かし、笑顔が多く見られています。また、準ずる課程の児童・生徒は、泳法を学習し、目標を立てながら一生懸命に泳いでいます。9月以降も WBGT 等の入水基準を順守しながら、安全第一にプールの指導を進めてまいります。御家庭での御準備等、どうぞよろしくお願いいたします。

9月からは学園祭の取り組みが始まります。今年度も、花畑学園ならではの学園祭を創り上げていきます。どうぞ御期待ください！

【知的障害教育部門より】

主幹教諭 前田 映子

記録的な暑さとなっております今年の夏ですが、夏休みはいろいろなイベントもあり、楽しまれたのではないのでしょうか？また、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、寝不足になられた方もいらっしゃるのではないかと思います。

さて、本校では6月10日からプール・水泳活動が始まり、知的障害教育部門小学部各学年でそれぞれ1回中止がありました。ほぼ予定通りにプールで活動することができています。児童・生徒が大変楽しそうで、「楽しかった～」と言って教室に戻っていく様子を見ると、こちらも笑顔になります。プールが楽しすぎて、毎日のようにプールバックを持ってくるお子さんもいるほどです。9月も安全に気を付けながら、楽しくプール・水泳活動をしていきます。